

跡見学園女子大学  
人文学フォーラム

執筆者紹介 (敬称略)

- 香山はるの KAYAMA, Haruno (教授/英文学)  
栗田秀法 KURITA, Hidenori (教授/西洋美術史・博物館学)  
茂木一司 MOGI, Kazuji (教授/美術科教育)  
森谷裕美子 MORIYA, Yumiko (教授/文化人類学)  
柴田眞美 SHIBATA, Mami (教授/日本画・臨床美術・美術解剖学)  
植田恭代 UETA, Yasuyo (教授/日本文学)  
横田恭三 YOKOTA, Kyozo (教授/中国書道史・書道実習)

編集後記

第二十二号をお届けします。

コロナ禍も一息つき、ひとの流れが活発となってきました。美術館や博物館では数多くの興味深い展示が行われ、多くの来館者を集めています。そのなかで、今号の特集では、本学の原点に返り、「美」の力の謎にせまることを目的とし、四編の特集論文をお寄せいただきました。加えて、別の分野の三編の論文もご投稿いただきました。

表紙には、茂木一司教授のご紹介で、春田大翔氏の「しまうま」を掲載させていただきました。作品の背景について、茂木教授にご解説いただいております。

最後に、今号の完成にお力添えを賜りました皆様から感謝申し上げます。ソーシャルメディアやAIの発達により、ひとのあり方、ひととの関係のあり方が大きく変わろうとしています。そういった今だからこそ、これまで人間が培ってきた知や文化を学ぶ人文学は、学問体系として必要だと思われれます。これからも、ひとが人間や文化について学び、問う場がいつそう発展していくことを願ってやみません。

(編集担当)